

1 活動名 全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生 受講

## 2 研修の目的

### (1) 本市における課題

松本市議会は、議会基本条例を制定し、議会改革を積極的に進めている。しかし、更なる議会改革を求められている。

### (2) 研修の必要性

地方創生時代、議会改革について先進的な取り組みをしている自治体からお話をお聴き、参考にする必要がある。

### (3) 研修項目

- ①地方創生時代に求められる議会力
- ②先進地事例報告

## 3 研修内容

(1) 日時 平成 30 年 7 月 11～12 日

(2) 会場 早稲田大学大隈記念講堂大講堂

(3) 出席者 2 名 上條美智子 勝野智行

### (4) 内容

- ①基調講演「地方議会から日本を変える」 北川正恭 元三重県知事
- ②特別講演「地方創生の展望」 安田充 総務事務次官
- ③講演・ディスカッション「真の地方創生とは何か」  
片山善博 早稲田大学教授・大西一史 熊本市長・北川正恭 元三重県知事
- ④課題整理「地方創生時代に求められる議会力」 江藤俊昭 山梨学院大学教授
- ⑤パネルディスカッション「議会力強化のための、議会事務局の変革」  
小林宏子 羽村市議会事務局長・清水克士 大津市議会局次長・  
千葉茂明 月間「ガバナンス」編集長（進行）
- ⑥先進事例報告 1 「地方創生をリードする議会へ」  
目黒章三郎 会津若松市議会議長・子籠敏人 あきる野市議会議長  
ビアンキ・アンソニー 犬山市議会議長・川上文浩 可児市議会議長  
廣瀬克哉 法政大学教授（進行）
- ⑦先進事例報告 2 「政策を実現する議会へ」  
尾崎大介 東京都議会議長  
松本研 横浜市議会議長

### (5) 成果・所感等

（別紙）

## 4 政務調査費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 80,984 円（研修会受講代 10,000 交通費 9,260 日当 6,000  
宿泊費 14,800 振込手数料 432） x 2

## 成果・所感 （1日目・先進事例報告）

### 【基調講演】「地方から日本を変える」

講師：北川正恭 早稲田大学名誉教授

- ・地方議会から変えていこうという自覚について
- ・条例等への指摘(この条例は間違っているのではないかなど)
- ・行政執行部がしっかりする＝議会がしっかりする
- ・オープン、クリア、クリーンな行政(PDCA サイクル)
- ・これからはオープンでなければ説明責任は果たせない
- ・選挙公約・・・お願いの選挙から→約束の選挙へ マニフェスト提唱

### 【特別講演】：地方創生の展望

講師：安田みつる氏

- ・東京人口流入 10万人が12万人に増加。流入を少なくしていこうとしているが増加してしまっている。

人口減少に対応したものに変わるべき。2040年までに東京圏中心に高齢者人口が急増する。他圏に医療・介護を依存している。これからも続くだろう。保育所のニーズは増加。幼稚園ニーズは減少するだろう。平成44年には朽ち果てるインフラ(公営企業)面的なインフラをどうしていくのか。都市のスポンジ化。

自治体がすべてを提供するのではなく、プラットフォームビルダー共が果たすべき役割。定年退職後暮らしを支える、やりがいのある仕事。

大都市と地域のつながりが薄い。地方は法人化して組織基盤化を。

都市機能の役割分担→圏域単位で求められてくる。

都道府県と自治体の二層化を整備していく。東京圏のプラットフォーム。

### 【講演】「真の地方創生とは何か」

片山善博 早稲田大学教授/地方創生と地方議会の役割

地方議会から地方創生する。積小為大・・・小さいことを積み重ね大きなことを為す。地方議会が替わる＝日本が変わる。今よりもっとよりよくするという取り組みを進めてほしい

い。どうすれば日本がよくなるか。地方創生がどう進めばよくなるか。地方創生から約 4 年。効果は出ているのか。中央に若者がとられてしまっている。今までうまくいかなかったのでは、やめるではなく、やり方を変えてみる。今までやってきたことがどうしてうまくいかなかったのか検証してみる。総合戦略は地域全体で考えよう。老若男女、地域のいろいろな人たちに参画してもらおう。みんなで地域の課題を考えなくてはいけない。地域を知らないコンサルにお願いしたりしているがそれは間違い。総合戦略を議会の承認事項にしているか。こんな大事なことを議決しないで提出することができるのか。プレミアム商品券。議会で議決され実施されたが、効果はなかった。この時に、議会で否決していれば、ほかの方法がされた可能性もある。

大西一史 熊本市長/震災復興と地方創生

熊本地震で大きな被害を受けた熊本城。熊本城の復興が熊本の復興につながる。

「地方創生時代に求められる議会力」と題し、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏にミニ講演いただきました。

### 【パネルディスカッション】議会力強化のための議会事務局の変革

小林宏子東京都羽村市議会事務局長、清水克士氏が県大津市議会局次長、お二方から取組み状況について報告がありました。

感想：議会から変革しようという意思が見られない議会もあることを認識。今、議会・議員に求められるものは、できることは議員がやるということです。事務局に言われてやるのは、恥ずかしいことだと感じました。

共通して言えることは、議会改革は議員改革だということ。

### 1日目を終えて

内容の濃い研修となりましたが、時間内に収めようと主催者側の努力はわかりますが、中身を詰めすぎで、講師の方のお話が十分時間がなく、聴いているほうも時間が気になってしまいました。

地方創生については、その地域全体でいろんな住民が参加して作成していくことが重要だということや、なぜうまくいかなかったか、検証することなど参考になりました。

## 成果・所感 (2日目・先進事例報告)

発表された各議会の取組みを聞き、本市議会には無い新たな発見がありました。

①会津若松市では、議員の成り手不足がないような取組をされていました。議員の取組「見て知って参加するための手引書」の作成、議会制度市民委員会の設置など。

また、広報広聴委員会を置き、市民意見を吸い上げ整理して、各専門委員会(各常任委員会)へ送る。そこから、各専門委員会はテーマを設定して政策に練り上げる。

②あきる野市では、議会改革を期ごとに実施している。

第1期では、「議会だより」のリニューアルや議会の街頭活動など。

第2期では、議会基本条例制定や通年議会の導入など。

第3期では、長期欠席議員の報酬等を削減する条例の制定など。

第4期では、中学生スピーチの実施など。

③犬山市議会では、議員間討議を促進させ、集約したものを議員提案につなげたり、常任委員会として政策提言するようになった。

④可見市では、常任委員会メンバーを4年間替えない。職員が替わっても議会が替わらないことで、議会のチカラ(意見)が強くなった。

⑤横浜市では、議員提案条例の制定にチカラを入れ、4年間で13本の議員提案条例を制定した。結果、条例に基づいた政策が実現するようになり、議会主導の地方創生に。

### 2日目を終えて

自分も議員としての力量を向上させ、市民から「いいね」と言っていただけよう、議会の一員として頑張って参りたいと思います。